サッカー体験会 新聞にのりました！

楽しくナイスキック

県障がい者スポ協のサッカー教室

県障がい者スポーツ協会のサッカー教室が23日、紀三井寺公園補助競技場で開かれ、20～50代まで世代を超え、みんな元気いっぱいだった。

ハンディキャップがある人に、スポーツに親しむ機会を提供し、より交流を深める同協会の取り組みで、陸上競技をはじめソフトボールやフットベースボール、卓球なども実施されている。

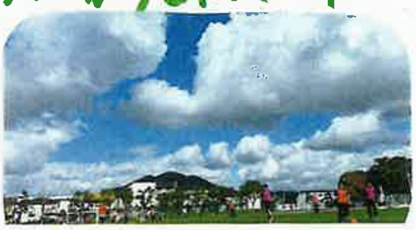
今回の指導は、全国大会にも出場しているブルーダイヤモンズ和歌山FCの森田吉城監督が務め、日本サッカー協会C級指導員の吉岡健太郎氏もサポートした。参加したのは11人で、ゲーム感覚でのウオーミングアップから始まり、2人組でのインサイドパスやヘディング練習と基本のプレーを学んだ。

参加者たちはボールを正確に蹴り、一生懸命で「ナイスキック」の声が、あちこちから聞こえていた。

基本練習の後には、ミニゲームも行われ、攻守にわたって楽しみながら、サッカーの魅力を肌で感じていた。

ミニゲームは元気いっぱい

基本プレーをしっかり練習

11/23 勤労感謝の日。青い空・白い雲・きれいに名草山が見える晴天☀のスポーツびよりでした。サッカー体験会。この時期のスポーツ。対策と共に体験会。参加者の楽しそうな笑顔。真剣な顔。初心者も経験者もいっしょにフィールドをかけまわる姿はスポーツの意義を再認識できる時間でした。そんな様子をわかやま新報さんが取材してくれました。熱心にとりくむ姿にスポットをあて、広く知らせて頂き、嬉しい♥ことでした。

みんな、取材で緊張したけどいつもよりはりきってかけまわっていたと思います。ありがとうございました。